

磐城時報

編輯部 石城郡平町新屋町十四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 磐城 二二二
代印 所加納活版所
發行所 石城郡平町新屋町十四
電話 磐城 二二二
一ヶ月金拾五圓
三ヶ月金四拾圓
六ヶ月金七拾圓
一年金一拾三圓
日刊(日曜、祭日)休刊

深夜十二時迄かゝつた 道路問題の町會

大体は第一案に決定 来る十日更に町會繼續

平町第三小學校の道路は第一案を附議した處意見多く容易に議決が委員に於て可決された後町會に於ては夜に移り午後十一時頃町會中の一、二名の者が別に十時頃や六時十四の多數を以て第二案なるものを計劃して以來第一案の工事費として歳出の問題は紛糾に紛糾を重ねるに至り三讀會並に歳入の件は審議つたので町會では過般七名の遂に三讀會並に歳入の件は審議委員に調査を委任し、委員は數未了のまゝ午後十二時散會した日に亘つて熱心に調査を續けた来る十日午前十時から繼續町會結果多數決を以て第一案が適當を召集して協議を續ける筈であるが決定の旨平町會に報告し、結局道路は第一案通り實行した、報告に接したので四日現るは既定の事實であるが平町會を召集し委員の決定案思はれる。

反對一派の策動 結局クタビレ損と判明

第三校道路問題の町會に於て第... 一案に反對である一派の人々はを合んでる青沼録太郎氏は午何とて延期せしめやうとか後十二時になれば審議未了で縣より延期か決定かの動議を提出會の如く協議は有耶無耶に終るして採決の結果十六對十四で少であらうと誤信し、議長に對し數となり敗れたため今度は質問を續發して協議を未了に終らしめやうと計劃したものの如く、それがあらぬか午後二時から町會に對し議長の意見如何を會は遂に午前十二時まで繼續しらうと迫つたが、之に對し遠藤たといふ馬鹿らしい場面を展開助役は「町會召集に當り期日を一日午後十一時五十分頃他く

有権者數

町	町會	衆議院
長橋町	一六九	一七五
研古町	二二六	二四〇
紺屋町	一五九	一六六
一丁目	一八七	一九一
二丁目	一〇七	一〇九
三丁目	一一四	一一七
四丁目	九三	九四
五丁目	八九	九二
新川町	一一四	一一八
新木町	一八六	一九一
材木町	一六八	一八三
銀冶町	一一四	一三六
南保町	三九九	四〇九
久保町	一一八	一二三
北保町	二〇一	二一六
北白銀	二〇一	二一六
北間町	二五三	二六三
仲間町	二五三	二六三
鎌田町	二一四	二二一
立町	二五〇	二六〇

石城法人事務研究会 役員決定

石城郡法人事務研究会の發會式用品物左の如し。
は五日午前十時から平稅務署に開き會則を制定した後役員を左の如く決定し、午後から法人事務に關する打合せあり午後三時閉會した、役員左の如し
▲會長 平稅務署長石川八十吉
▲副會長 山崎合名會社
▲幹事 平町警署建設株式會社
▲高橋合名會社、片倉警署製菓株式會社、平製氷株式會社、植田町警署銀行、植田水力電氣株式會社、四倉町萬年瓦工業株式會社、四倉運送株式會社、小名濱町警署水産工業株式會社、岡崎合名會社、赤井村福島炭礦、草野村鈴木木店、平稅務署直稅課長、同課長。

平町の銀行 利息回収に手古摺る

昨年より六割減

決算期に近づいた平町各銀行利息回収の道具を世話息回収状態を見るに本年は昨年と稱して手附金を詐取したに比し六割方悪く本年六月決算外、平町町飲食店井口タカ方期よりも三割位回収減見込みあり、約山形縣新庄町阿部朝江(二)るがたつた四ヶ月位しか経過し(九)を身受けすると稱して平町てのない今日三割の減とは不況長橋町五十嵐文古衛門から三十の深刻さをはかり知るに充分で五圓を借りうけたま、妻子三名期されてゐたが、愈々来る十六ある向各銀行本店では果してを五圓を借りうけたま、妻子三名期されてゐたが、愈々来る十六本年末に六、七割減にも利息ので五十嵐は五日平署に詐欺の告発する事に決定した、参加チ回収がつかかどうかを今から憂慮してゐる。

實況視察

貴族院議員湯地幸平氏は宮城、土岐、米倉各子爵と共に近く東北地方不況農漁村實況視察に出張するの石城共済委員會では意見を取纏めて一行に提出するため来る一日午前九時から湯本町公會堂に臨時委員會を開催提出する意見の内容について協議する事になった。

平町日用品物價

平町に於ける十月五日現在の日去る九月二十三日平町彌宜町水僧侶の祭詞に各中小學校職員生鑑定を請ふたものである。

自動車組合

堤ノ内	二四	二四
南白銀	二二二	二二五
大工町	六三	六四
播磨小路	一八三	二〇〇
舊城跡	一六〇	一八〇
八幡小路	五七	六五
月見町	七七	一〇五
計	四、一〇一	四、三二七

料金の協議

石城郡自動車協會平支部總會は五日午後一時から平警察署に開き料金の件について協議し

音信不通

娘を依頼したが平署に告訴
平町長橋町宮崎理髮店方佐藤次(四五)は石城郡内郷村大字綴字川原内佐藤金右工門長女タケ(十三)を前借七十圓で埼玉縣方面に世話すると稱して連れ出し、たまたま今日まで何等音沙汰がなため金石工門は平署に告訴した。

借りて逃走

石川郡川東村大字小山田石井武雄(十八)は去る十月五日午後三時頃平町長橋町若葉シナが同郷人であるのを奇貨とし同人を欺いて現金五十圓を借り逃げしたので四日平署に告訴された。

家族運動會

相馬郡原町榮町自治青年團主催で同町家族運動會を三日午前九時から衆樂園にて舉行した、各家族打連れ明治節を奉祝し種々競技に熱狂し一同親交和氣満々の裡に閉會を告げた。

消防檢閲

相馬郡小高町、金房村、福浦村の一町二ヶ村消防點檢は五日小高町小學校庭に於て執行した、原町警察署長の人員、服装の檢閲に始まり訓練及器具器械の檢査後水勢競争に移り一場の講評訓示あつた、尚ほ原町外五ヶ村の聯合檢閲は八日原町夜之森公園に於て執行する等。

防火映畫會

相馬郡鹿島町消防組主催の防火宣傳映畫會は四日夜鹿島座にて開催した。

教員庭球大會

相馬郡郡教員庭球大會は雨の爲めに延期されたが、愈々来る十六日相馬中學校A、B兩コートで舉行する事に決定した、参加チムは十二日迄で申込みせしむる。

國寶申請

相馬郡鹿島町只野與惣治氏は今回先祖傳の秘藏佛像阿彌陀如來普賢菩薩、一面觀音の三基を國寶に編入方を縣を経て田中文相宛に申請した、右は縣に帝室技術官の鑑定を請ふたものである。

煎餅屋逃走

平町研煎餅屋栃木縣那須郡那須公園内忠魂碑前に於て執行した入方を縣を経て田中文相宛に申請した、右は縣に帝室技術官の鑑定を請ふたものである。

相馬支局通信

原町招魂祭 原町招魂祭は五日午前九時から夜之森、一面觀音の三基を國寶に編入方を縣を経て田中文相宛に申請した、右は縣に帝室技術官の鑑定を請ふたものである。

